

南房総・館山地域公共交通活性化協議会委員名簿

R2.7.16現在
※敬称略

| | 役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|-------------------------------|--------|-----|
| 1 | 千葉県総合企画部 交通計画課長 | 豊田 和広 | 会長 |
| 2 | 南房総市副市長 | 嶋田 守 | 副会長 |
| 3 | 館山市副市長 | 鈴木 雄二 | 副会長 |
| 4 | 東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長 | 鈴木 康彦 | |
| 5 | 一般社団法人千葉県バス協会 専務理事 | 成田 斉 | |
| 6 | 館山日東バス株式会社 代表取締役 | 平野 直 | |
| 7 | ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長 | 竜崎 広幸 | |
| 8 | 鏡浦自動車株式会社 代表取締役 | 山田 幸生 | |
| 9 | 南房タクシー株式会社 取締役 | 鈴木 義和 | |
| 10 | 一般社団法人千葉県トラック協会 常務理事 | 池田 和弘 | |
| 11 | 館山日東バス株式会社 互助会代表 | 丸山 徹 | |
| 12 | 安房土木事務所 調整課長 | 大沢 正美 | |
| 13 | 南房総市住民・利用者代表(富山地区) | 高橋 佐一 | |
| 14 | 南房総市住民・利用者代表(白浜地区) | 本橋 清一 | |
| 15 | 館山市住民・利用者代表(連合会長・長須賀区連合町内会長) | 石井 久治 | |
| 16 | 館山市住民・利用者代表(連合副会長・船形地区連合区長会長) | 大和地 紀昭 | |
| 17 | 国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長 | 板垣 友圭梨 | |
| 18 | 関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 | 佐藤 義尚 | |
| 19 | 館山警察署 交通課長 | 黒澤 充孝 | |
| 20 | 安房道の駅連絡会会長 | 鈴木 賢二 | 監査 |
| 21 | 館山市社会福祉協議会事務局長 | 西川 隆 | 監査 |
| 22 | NPO法人まちづくり支援センター代表理事 | 為国 孝敏 | |
| 23 | 日本大学理工学部交通システム工学科 教授 | 轟 朝幸 | |

南房総・館山地域公共交通活性化協議会 令和2年度事業について

館山市との合同による標記協議会における令和2年度の事業内容については、令和2年7月16日に開催した会議において、2市合同の「南房総・館山地域公共交通計画」の策定と、計画策定に必要となる地域間バス路線の乗降状況調査、丸・平群線の実証運行を実施することについてご審議いただきました。

<南房総・館山地域公共交通活性化協議会 令和2年度事業>

1. 「南房総・館山地域公共交通計画」の策定

【策定の目的】

生活圏を共にする2市が、まちづくりや観光振興等の地域戦略と一体になった効率的かつ利便性の高い公共交通ネットワークを構築するため、合同の公共交通計画を策定する予定です。

【主な内容】

2市の公共交通ネットワークに関する目標や方向性、関係者の役割、スケジュール等を明確化するとともに、主に2市に跨るバス路線等の利用促進やルート等運行内容の見直しを施策として盛り込んでいく予定です。

2. 主要路線バスの乗降状況調査

【実施目的】

これまでに一定期間の調査実績が無い地域の地域間バス路線について、今回策定する計画の施策立案の基礎データにすべく、乗降状況調査を行う予定です。

【実施内容】

2市にまたがる主要なバス路線である市内線（南無谷・小浜～館山航空隊）、南房州本線（館山駅～安房神戸～安房白浜）、白浜千倉館山線（館山駅～千倉駅～安房白浜）の3路線について、2ヵ月間、車載カメラ等により、停留所ごとの乗降状況をカウントし、利用状況を把握するものです。

3. 丸・平群線（館山駅～三芳病院～川谷/平群車庫）の実証運行

【実施目的】

丸・平群線は、南房総市の再編実施計画や館山市地域公共交通網形成計画において、三芳分庁舎での系統分離など再編・見直しが盛り込まれており、利用状況も地域内ワーストである。今年度、実証運行を行い、その検証結果を合同計画の内容に反映させ、迅速な路線の見直しを可能とするため、実証運行を実施する予定です。

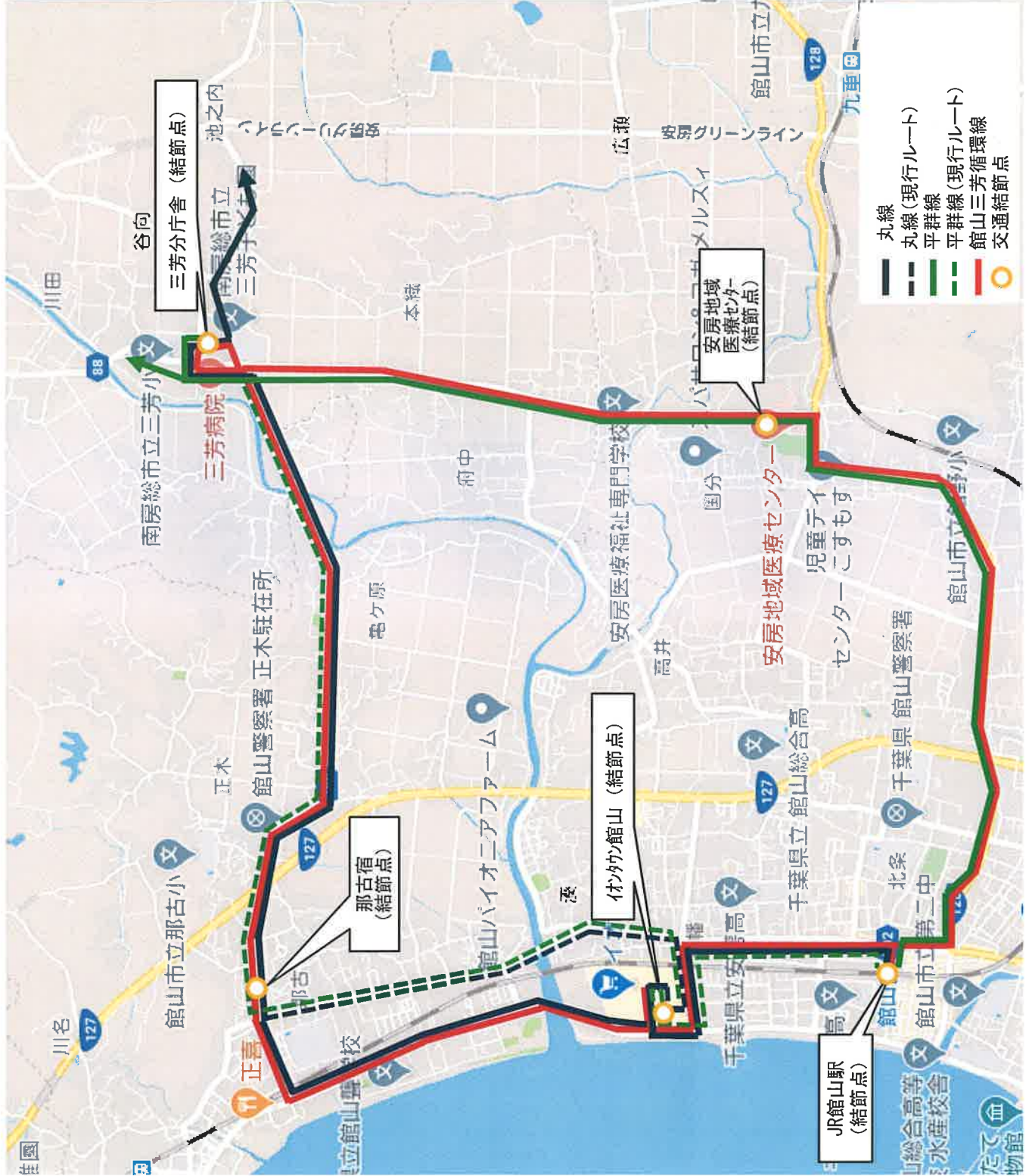
【実施内容】

「資料7-3及び7-4」をご参照ください。

丸・平群線実証運行計画案

| | 丸線 | 平群線 | 循環線 |
|----------------------|--|--|---|
| 実証時期・期間 | 令和2年度下半期に2か月程度運行 | | |
| 走行キロ数 | 17,290m | 16,460m | 15,530m |
| 新規停留所数 | 6 (循環線と共用) | 4 (循環線と共用) | 9 (うち4つは平群線と共用、6つは丸線と共用) |
| ルート | 別紙参照 (館山駅-イオン-那古海岸通り-那古宿-三芳分庁舎-御庄-川谷) | 別紙参照 (館山駅-南総文化ホール-安房地域医療センター--三芳分庁舎-平群車庫) | 館山駅-イオン-海岸通り-那古-三芳分庁舎-医療センター-南総文化ホール-館山駅 |
| ルート設定の理由や実証を通じ確認すること | <p>現行ルートの館山駅～那古宿間は比較的本数の多い別路線 (市内線) と重複していることや、海岸通り沿いの交通空白地解消を目指すこと、基幹医療施設である亀田ファームリークから路線バス乗り入れ要望があり一定の需要が見込めることから、館山駅～那古宿間を海岸経由に変更し、需要を確認する。</p> | <p>従前、館山駅で別系統に乗り換えなければ行くことのできなかった安房地域医療センターに直通するルートに変更し、需要を確認する。</p> | <p>三芳分庁舎を乗り継ぎ拠点とし、利用者の多い三芳分庁舎以南 (以西) の本数を増強するとともに、イオン方面・安房地域医療センター方面の双方向にアクセス可能とすることにより、利便性を向上し、乗り継ぎ需要の有無を確認する。</p> |
| 運行本数 | 現状通り (平日6本、土休日4本) | 現状通り (4本) | 合計4本 |
| 運行ダイヤ | 未定 | | |
| 運行日 | 毎日 | | |
| 運賃 | 現行の対距離制運賃 (乗車区間に応じ運賃が上がっていく) を基本に、実施可能であればゾーン制 (キリの良い金額にする) の実証を行う | | |
| 乗継割引 | 丸・平群線⇄循環線または丸線・平群線相互間を三芳分庁舎で乗り継ぐ際は通し運賃を適用する | | |
| 使用車両車種 | 現行車両を使用 | | |
| 使用車両数 | 1 | 1 | 1 |
| 車両調達方法 | 現行車両を使用 | | |
| その他 | 利用者アンケートなどによるニーズ調査を実施する | | |

丸・平群線実証運行ルート案



○館山三芳循環線 停留所

館山駅前 (駅方面のみ)

JA北条支店前

安房高校前

八幡神社前

イオンタウン館山

●亀田ファミリークリニック前

●市民運動場前

●セブンイレブン那古海岸店前

●那古海岸

●第一中学校前

●那古宿

(途中省略)

●三芳病院前

●三芳分庁舎前

●本織①

●本織②

●安房医療福祉専門学校前

●安房地域医療センター

●萱野口

(途中省略)

●南町

●六軒町本通り

●キネマ通り (駅方面のみ)

●館山駅前

○丸線 (青線) 停留所

那古宿～川谷間は現状どおり

第一中学校前～館山駅間は

循環線と同一停留所に停車

○平群線 (緑線) 停留所

士沢～平群車庫間は現状どおり

館山駅～三芳分庁舎までは

安房地域医療センター回りで

循環線と同一停留所に停車

館山駅～安房地域医療センター間は

館山鴨川線、白浜千倉館山線と同一

停留所に停車

※上記●印は新規設置停留所